

「稲刈りからお米を食べるまで（農林漁業体験の提供）」の概要

静岡農政事務所消費生活課

開催日時： 平成20年10月25日（9：00～12：00）
場 所： 静岡農政事務所
参加者： 静岡市立安東小学校5年生ほか 10名
主 催： 静岡農政事務所 消費生活課
概 要：

10月25日（日）静岡農政事務所において、「稲刈りからお米を食べるまで」と題して、静岡市立安東小学校5年生ら10名を招待して、稲刈りからとう精、おにぎり作りまでを体験する学習会を行いました。

当日は前日の雨で、田んぼが緩んでしまいましたが、1時間をかけて刈った稲をわらひもで束ね、はざがけをしました。その後、あらかじめ用意しておいた稲を使い、脱穀・もみすり・とう精といった一連の作業を行いました。



脱穀、もみすり、とう精といった作業は地味で大変な作業ですが、子ども達は夢中で取り組んでくれました。ほとんどの子ども達はこの田んぼでの田植えを経験しているためか、「自分たちのお米」という意識が強いようで、「稲が十分に乾いたら取りにくるから大事に保管しておいて！」との注文がきました。（後日あらためて農政事務所で作業をする予定）

子ども達は「小さい田んぼなので収穫量も少ないと思ったけど、思ったよりたくさんでびっくりした」「お米が田んぼからみんなの口に入るまでたくさんの手間がかかっていることがわかった」といった感想を話してくれました。

最後は静岡県産のお米を炊いて、おにぎり作りをしました。

当日は静岡朝日テレビの取材があり、お昼と夕方のニュースで稲刈りの様子が放送されました。

静岡農政事務所のミニ田んぼの記録については、下記ホームページで公開しています。

http://www.maff.go.jp/kanto/shizuoka/torikumi/20minisuiden_index.html